

カイゼン・DX 人材育成講座

受講生募集中

期間

令和6年
8月▶12月



お問い合わせ

公益財団法人ひろしま産業振興機構
ものづくり人材育成センター

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島情報プラザ
〔TEL〕 082-240-7716

主催：  公益財団法人
ひろしま産業振興機構

特別協力： 株式会社ウフル



公益財団法人
ひろしま産業振興機構

『経営層と共に学ぶ』生産性向上につながるカイゼン・DX講座!!

昨今、賃金上昇、人手不足、原材料高騰など、経営を取り巻く環境は大きく変化しています。その変化に対応するには、自社の**生産性向上**を行うことが必須です。ものづくり現場の現場力とデジタルを融合させるために、改めてカイゼンにDX（見える化等）を入れた考え方を学び、効率的な**生産性向上**を目指しませんか？

- カイゼンによる、自社の**生産性向上を検討**している。
- 生産性向上活動を継続しているが、効果を加速するために**DXの導入を検討**している。
- 自社に適したIoT等のデジタル導入で実現したい内容を整理したい。
- IoTの基礎**やものづくり現場での活用事例を**実践的に学びたい**。
- デジタルの知識を持った人材、改善を実践できる**人材の育成を検討**している。

対 象 者

広島県内に事務所又は事業所を有するものづくり中小企業にお勤めで、現場リーダー（経験3年以上の次期リーダー）の方

定員：10社（1社2名程度）

○エンジニア以外の方も受講可能です。

受 講 要 件

- 第1回目の講座と経営層向けセミナー及び成果発表会に、経営層の方が参加できること
- オンラインでの受講が可能であること（WEB会議ツールZoomを利用予定）

受講料：15万円/社（税込）

会 場

リアル会場：広島県情報プラザ

広島市中区千田町3-7-47

・リアルとオンラインどちらでも受講できるようにハイブリット開催を実施します。
※…初日（8/21）のみ会場が異なります。
※…ISTC見学ツアーについては、訪問先は愛知県碧南市中山町7丁目26番地です。

講師のご紹介



旭鉄工株式会社／iSmart Technologies株式会社
代表取締役社長 木村 哲也（きむら てつや）
1992年に東京大学大学院を修了、トヨタ自動車の生産調査部など21年勤務した後、2013年旭鉄工側に転籍、製造現場から経営指標までIoTデータを活用する体制を構築。労務費を年4億円節減に合わせ消費電力も31%低減させる。経営面では損益分岐点を29億円下げ、同じ売上高で利益を10億円上乗せさせる。ものづくり日本大員特別員を受賞、数回の講演や100社以上の改善指導実績があります。著書には『Small Factory 4.0』（三恵社）と『付加価値ファースト〜常識を壊す旭鉄工の経営〜』（技術評論社）があります。

株式会社ウフル 糸川 将司（いとがわ まさし）

2001年から2016年まで大手システムインテグレーターのインフラエンジニアとして大規模システムのインフラ構築開発案件を担当。2017年より現職にて、IoTビジネスのコンサルティングや、クラウドサービスを利用したシステム開発案件に従事。

デジタルソリューション株式会社 橋詰 公太（はしづめ こうた）

工作機械メーカーにて設計開発をおこなっていたが、2002年にソフトウェア開発に転向、以降は製造業の3D-CADシステムや在庫管理システム、生産管理システム、IoTシステム、クラウドシステムなどの開発・マネジメント業務に従事している。中小製造業の現場改善に取り組んでいた経験を活かし、現在は工場のIT化を推進している。

オブザーバー 株式会社 サンエス

広島県福山市神辺町川南741-1
生産革新・工場改善サービスでDX/デジタル化を支援
あらゆる機会がインターネットにつながる時代の中、開発〜製造〜管理まで「見える化」することで高い安心と安全を目指します。



青山学院大学 理工学部 経営システム工学科
教授 松本 俊之（まつもと としゆき）

1961年広島県生まれ。
1993年慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程管理工学専攻修了。現在は青山学院大学理工学部経営システム工学科教授、博士（工学）。専門はIEと生産管理であり、「見る、観る、やって試る」を基本姿勢とするIEの研究と教育・実践を通して日本流IEの確立を目指して、研究・教育にあたっている。松本研究室では企業のもの造りを基本にして、実際の企業における改善活動を支援して、現場改善技術と教育システムの開発の研究にあたっている。

Office911 徳森 浩（とくもり ひろし）

TQC（現TQM）推進、QCサークル活動の指導を通じて現場の業務改善に従事。インターネット黎明期からデオデオ（現エディオン）と協働でネットビジネスを展開。その後は経営者としてERP、Web-EDIなど情報系・勘定系業務のデジタル化を推進し、経営改革を実行。現在は、経営者と現場、ITベンダーをコーディネートし、デジタル化推進にて経営改革をサポートしている。

株式会社青青 伊藤 大介（いとう だいすけ）

システムエンジニアとして業務システムの設計やプロジェクトマネージメントを経験後、コンサルタントとして独立。現在は部分的なIT導入にとどまらず、経営的な視点から全体最適を目指した業務改革の支援をしている。「企業と共に考える」がモットー。

オブザーバー 株式会社 デスクワークラボ

広島県東広島市西条下見5丁目10-7
「新しい技術に使われるのではなく、新しい技術を使いこなすことで、人間が人間らしく生きる」ことが、弊社が目指す理想の社会です。

ひろしま産業振興機構

当財団は、県内産業の発展のため、県内企業等の様々な取り組みを総合的にバックアップし、産学官連携による新技術・新製品開発や、創業・新事業展開、経営革新、経営基盤の強化、国際ビジネスの支援などを行っております。

受講者からの声

各講義を受講することで**問題点を見つけるための着眼点、ポイントを知ることができ、自身の成長と共に自社の課題を改めて発見する良い機会となりました。**

目的であるデータの見える化ができました。ここからデータを有効活用し、さらなる改善へつなげていきます。様々なアドバイスを頂けるので、IoT導入等を検討している方には受講をおすすめします。

社内で当たり前になっていた**工数のロスを削減することに大きな成果**を感じています。引き続き、社員が少しでも楽に、価値のある作業を実施できるよう、現状に満足せずシステムのアップデート、IoT導入を進めていきます。

受講した推進リーダーから育成塾の講義内容を社内で展開し、**改善の風土が高まった。**

受講企業の活動事例

工具管理改善事例



工具を探す、管理する時間のロ스에気づき、工具を管理するために、整理整頓を進め、誰が使用している（持ち出した）かわかるようにシステムを構築

見える化の実践



既存のGoogleスプレッドシートを利用して、工程の進捗管理を見える化！

問題点の改善

見える化してわかった、工程の遅れ原因の倉庫を整理して、材料の取り出し時間を削減！



当センターの目指す人と企業の成長



申込み方法

下記Webサイトよりお申し込みください。

<https://www.hiwave.or.jp/news/41933/>



左記QRコードからもアクセスできます

申込み締め切り日：令和6年7月18日（木）

○最新情報はホームページを開設しておりますのでご確認ください。
○ISTC見学ツアーに関して、見学は参加無料ですが、旅費は自己負担とさせていただきます。
○申し込み多数となった場合や経営層が参加できないなどの場合は、受講をお断りする事がございます。ご了承ください。
○「カイゼン・DX人材育成成塾2024」は、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して実施しています。